No.41

輝けきくち

青少年育成推進員だより

問い合わせ先
菊池市教育委員会
生涯学習課内
☎0968(25)7232

先進地視察研修

菊池市青少年育成市民会議では、2年に1度先進地の視察研修を行っています。ことしは8月25日～26日に佐賀県を視察しました。

▼1日目　小城市教育委員会

小城市は平成17年の合併で各地区との意見交換を重ね、小城市青少年育成会議として組織されました。

活動は、主に7校区ごとに組織された地区青少年育成会で行われており、地区ごとの活発な活動内容を知ることができました。本市と類似しているものも多くありましたが、土曜教室、モデル子どもクラブ発表、少年少女の声発表会など、本市には無い活動もあり、丁寧に説明していただきました。活発な意見交換ができ、有意義な研修でした。

▼2日目　文化財視察

佐賀県内3カ所の文化財を視察しました。佐賀と菊池の歴史を感じながら、帰路に着きました。

園木道子（そのぎみちこ）

小城市教育委員会を視察

潮見神社にある菊池氏第五代経直公の墓（武雄市）

佐賀城本丸歴史館

佐賀市歴史民俗館

家庭教育・青少年健全育成講演会

笑顔あふれる子どもたちの育て方

10月6日、菊池市文化会館で教育委員会と青少年育成市民会議主催の講演会を開催しました。講師に因幡美子先生を迎え、約140人の参加がありました。

講演会

▼講演内容

健康とは、肉体的・精神的・社会的に全てが満たされた状態にあること。

健康の秘訣

▼バランスの良い食事を心掛け、よくかんで食べる。腹八分目

▼暮らしの中で運動を取り入れる。運動不足は病気の原因。

▼しっかり睡眠を取る。子どもの脳は寝ている間に育つ。

▼ストレスをため過ぎない

ストレス・ケア

▼腹の立つことや嫌なことも否定的に考え込まず「そうなんだ」とポジティブに受けとめ、マイナス感情に落とし込まない。マイナス感情はマイナスのことを引き寄せてしまう。

▼「ありがとう」の気持ちを言葉に表すことが大切。

※感情を思考でコントロール

プラス感情で子どもに向き合い、家庭で生きる力を育てることの大切さが伝わるすてきな講演でした。

佐々木大司（ささきだいじ）

第2回 菊池ふるさとかるた

ろ　蘆花夫人 愛子の里は『思い出の記』に

徳富愛子（蘆花夫人）

隈府中町原田家に生まれ。文学少女で東京女子高等師範学校卒。文豪徳富蘆花と結婚し、多彩な才能を発揮しました。夫の没後、「蘆花全集」20巻を刊行。城山に髪塚が建っています。

ふるさとかるた史跡めぐり

国民年金情報

問い合わせ先　市民課市民年金係　☎0968（25）7211、各総合支所総務民生課

国民年金保険料の納め忘れはありませんか？

■「老後」と「もしも」のときに備えましょう

ことしも残りわずかとなりました。皆さん、国民年金の保険料は納めましたか。

年金は、自分自身だけでなく世代間の助け合いです。未納のままでいると、「老後」の年金はもちろんのこと「もしも」のときの障害基礎年金や遺族基礎年金などが受けられない場合があります。このようなことがないように、保険料は必ず納めましょう。

■国民年金保険料の支払に困ったら

「国民年金保険料免除制度」をご利用ください

国民年金の長い加入期間中には、病気やけが、失業などの経済的理由で、保険料を支払うことが困難な時期があるかもしれません。そんなときは、「免除制度」があなたの年金を守ります。

- 収入が少なく生活に困ったとき
- 病気やけがなどで経済的に困ったとき
- 失業や営業不振などで保険料を納めることに困るとき

手続きは「免除申請書」に必要事項を記入し、市民課または総合支所総務民生課の国民年金窓口に提出してください。代理で申請する場合は、申請する人の年金手帳または納付書および印かんを預かってきてください。また、継続申請により期間延長承認に該当する人以外は、毎年申請が必要です。

※申請書提出後、年金事務所で前年度所得額により審査があります。審査の結果、免除が認められないこともあります。

※国民年金保険料の一部免除（4分の3免除・半額免除・4分の1免除）が承認された人は、残りの一部保険料を納めないと未納期間となり、老後に受け取る年金（老齢基礎年金）や障がいや死亡に対する年金（障害基礎年金、遺族基礎年金、死亡一時金）を受け取ることができない場合があります。

追納制度をご存知ですか？

免除を受けた期間や若年者納付猶予期間および学生納付特例期間の保険料は、10年までさかのぼって保険料を納付することができます。満額の老齢基礎年金を受け取るために、生活に余裕ができたときには納めるようにしましょう。

免除が承認された期間の翌年度から起算して3年度目以降は、当時の保険料に加算額が付きますので早めに追納することをお勧めします。

■予約相談を受け付けています

日本年金機構では、10月から全国の年金事務所で年金相談の予約を受け付けています。

年金事務所の窓口で年金請求の手続きや、受給している年金について相談する人は、予約相談をご利用ください。予約は「ねんきんダイヤル」で受け付けています。

※希望日の1カ月前から前日まで予約できます。

※連絡する際は、基礎年金番号の分かる年金手帳や年金証書を準備してください。

※近くの年金事務所でも受け付けています。

問い合わせ先（ねんきんダイヤル）

ナビダイヤル
☎0570（05）1165
050で始まる電話で掛ける場合
☎03（6700）1165

シリーズ 文教の偉人⑧

渋江公穀（しぶえこうこく）（1830～81）

問い合わせ先　生涯学習課
☎0968（25）7232

渋江公穀は沼灘（とんだ）の次子として生まれ、父の亡くなる1年ほど前、16歳にして父の跡を継ぎ渋江塾（じゅく）の塾主となりました。長子の公温（こうおん）は、すでに本家の水神職を継いでいたので、公穀が継ぐことになったのです。

公穀は幼いころから賢く、父沼灘や近藤淡泉（こんどうたんせん）に学び、剣術などの武術にも優れていたといいます。藩命で文芸教導師となり、教育に尽くしました。

渋江家の系列の中でも、その人となりは実に個性的で、弟晩香（ばんこう）は公穀についていくつものエピソードを書き残しています。

公穀は豪放磊落（ごうほうらいらく）で、小さなことにはこだわらない豪快な性格だったようです。酒を飲み過ぎて羽目を外すなど、普段から奔放な振る舞いが多かったのですが、非常に見識に富み、弟子の教育にはとても熱心で、常々「男子は勇気が一番」と激励していました。ある日公穀は、「誰か俺の腕に火を付けられる者がいるか」と自分の腕をまくり出しました。固唾を飲んで皆が見守る中、1人の塾生が公穀の腕に台所のまきをくっ付けると、公穀は喜んで「男の子はそれくらいの勇気がなくてはいかん」と言ったそうです。

また公穀は、立場をかさに威張るような人に会うと、その鼻をくじいてやらなくては気の済まない人でした。県の山林官の家に泊まったときのこと、酒の席で山林官はおごり高ぶって公穀を馬鹿にしたような態度を取りました。それに対して公穀は「あなたは草木を統率するのでしょうが、私は万物の霊長である人間を教え育てる者です」と言って、とうとう上座に座り、平然としていたといいます。

そんな公穀でしたが、父亡き後、常に母や兄への敬慕を忘れない孝行者でした。菊池を離れた折にも、朝は必ず家の方角へ拍手拝礼し、母と兄への感謝を示したそうです。

公穀は晩年、家を正観寺村から南古閑村に移しました。おおらかで奔放な人生を歩んだ公穀は、52歳でその生涯を閉じました。旅行中に容態が急変し、その死をみとれなかった弟の晩香は、ひつぎの前で血涙を流したと伝わっています。